

## 送辞

厳しい寒さがまだ残りつつも、この唐津西高校の登校坂を照らす暖かな日差しから少しずつ春の訪れが感じられる季節となりました。このような佳き日に、卒業生の皆様が晴れて高等学校の全過程を了えられ、ご卒業を迎えられましたことを在校生一同、心からお祝い申し上げます。

この唐津西高校の校舎のいたる所に先輩方の面影があり、寂しさも徐々に込み上げてくる中、同時に、ここで先輩方とともに同じ時間を過ごしてきた様々な出来事が思い出されます。先輩方は、時に厳しく、時に優しく、時には楽しく、私達を指導してくださいました。部活動の時、勉学や生活面での問題、課題に真摯にアドバイスをくださった時、私達を導いてくださいました。特に、全校生徒が丸丸となって取り組んだ双松祭の盛り上がりは今でも鮮明に覚えています。これも、応援リーダーはもちろん、バック絵やパネルなど、それぞれの仕事を私達在校生には見えにくいところで、準備から片付けまで懸命に全うされた先輩方のおかげです。どんなときも先輩方は私達在校生の手本となって教えて下さいました。ありがとうございました。

そうして様々な出来事が過ぎ、先輩方がそれぞれの進路実現へ向けて、不屈の努力を重ねられる姿が、思いが、私達に影響を与えるほどに力強くなっていったのを感じていました。先輩方がいなければ、職員室前で勉強をすることを思いつきもしなかったのではないかと考えてしまいます。先輩方は最後まで私達在校生に進むべき道を教えて下さいました。

先輩は、昨年卒業された先輩方のことを覚えていらっしゃるでしょうか？ 優しかった先輩や厳しかった先輩を「こんな先輩がいたなあ」と思い出されるはずです。同じように、私達在校生も、先輩方のことを忘れません。悩んだとき、迷ったとき、ふとした瞬間に、先輩方のことを思い出します。それは先輩方が私達の目標だからでもあります。

現代はコロナ禍やAI技術の進化など先の見えない困難な世の中であると言われる。霧の中の見えない道を歩いているようなものです。今までにない工夫や創造力が必要とされるかもしれません。しかし、確かにそこに道があり、歩くことが出来るのです。だからこそその道を歩むことができたとき、先輩方の人生は充実したものになるでしょう。どうぞ、その時、その時を大切に、充実した人生を過ごしてください。

先輩方の卒業後、この唐津西高校の伝統は私達在校生がしっかり引き継いでいきます。来年度の双松祭にはぜひいらして成長した私達の姿を見てください。今はまだまだですが、その時にはきっと私達だけでも進むべき道を迷わずに進めるほどに成長しているはずです。

最後になりますが、卒業生の皆様のご健康と人生の充実をお祈りして、在校生代表の送辞といたします。

令和三年三月一日

在校生代表 三井一輝